

2023年度心理臨床センター活動報告

1. 開室状況

開室日数は237日（月平均19.8日）、勤務のべ人数は1381人（月平均115人）だった。

2. 電話対応状況

電話対応の内訳は Table 1のとおりだった。

3. 相談件数

年間の相談受理件数は43件だった。^{注1)}年間のべ536件の相談（月平均44.7件）を受理し2022年度と同等の相談実施数を確保した。

各月における面接形態の内訳を Table 2に示す。なお、2023年度に実施した心理検査を Table 3に示す。

注1) 2022年度までは新規相談受理件数を記載していた。
2023年度は再開希望ケースを含む件数

Table 1 電話対応の内訳

月	新規申込	継続予約	中止・変更	紹介	その他	合計
4月	0	7	13	0	13	33
5月	8	3	5	0	14	30
6月	3	9	11	0	26	49
7月	2	6	13	0	14	35
8月	0	7	14	0	18	39
9月	2	2	8	0	9	21
10月	6	5	10	0	14	35
11月	4	5	6	0	13	28
12月	1	4	11	0	15	31
1月	8	8	12	1	21	50
2月	2	8	10	0	17	37
3月	2	8	11	0	12	33
合計	38	72	124	1	186	421
月平均	3.2	6.0	10.3	0.1	15.5	35.1

Table 2 相談の内訳

月	初回面接	初回 オンライン	心理相談	心理相談 オンライン	並行面接	心理査定	その他	合計
4月	0	0	29	10	0	0	0	39
5月	3	0	29	10	0	0	0	42
6月	7	0	29	11	0	0	0	47
7月	3	0	34	12	0	1	0	50
8月	0	0	36	9	0	0	0	45
9月	1	0	34	8	0	2	0	45
10月	2	0	32	9	0	0	0	43
11月	4	0	29	12	0	0	0	45
12月	3	0	28	11	0	1	0	43
1月	1	0	31	10	0	10	0	52
2月	5	0	23	12	0	6	0	46
3月	3	0	28	7	1	0	0	39
合計	32	0	362	121	1	20	0	536
月平均	2.7	0.0	30.2	10.1	0.1	1.7	0.0	44.7

Table 3 2023年度に実施した心理検査

	検査名	実施数
AAQ-II:	Acceptance and Action Questionnaire-II	6
A-CATS:	Anger Children's Automatic Thought Scale	4
A-CCES:	Anger Children's Cognitive Error Scale	4
ADIS:	Anxiety Disorders Interview Schedule for DSM-IV	32
AQ:	Autism-Spectrum Quotient 日本語版	1
ARI-P:	Parent - report form of Affective Reactivity Index	4
ARI-S:	Self - report form of Affective Reactivity Index	4
ASCA:	Anger scale for Children and Adolescents	4
アサーション行動尺度:	Assertion Behavior Scale	4
バウムテスト		2
BDI-II:	Beck Depression Inventory-II	7
CAARS:	Conner's Adult ADHD Rating Scales	2
CCES:	Children's Cognitive Error Scale	30
CDI:	Children's Depression Inventory	26
CFQ:	Cognitive Fusion Questionnaire	6
DBDRS:	Disruptive Behavior Disorder Rating Scale	4
DPRS-C:	Depression Parent-Rating Scale for Children	2
DSRS-C:	Depression Self-Rating Scale for Children	30
DSRS-P:	Depression Self-Rating Scale for Parent	2
FASA:	Family Accommodation Scale - Anxiety	31
FASA-CR:	Family Accommodation Scale for Anxiety - Children report	30
GAD-7:	Generalized Anxiety Disorder 7-item scale	9
育児感情尺度		1
ISI:	Insomnia Severity Index	9
LSAS-J:	Liebowitz Social Anxiety Scale 日本語版	1
MEDSCI:	Manic Episode Diagnostic Screening Inventory	8
M.I.N.I.:	Mini-International Neuropsychiatric Interview	12
親の養育態度尺度		1
P-F スタディ		2
PHQ-9:	Patient Health Questionnaire-9	9
Rorschach Test		2
SCAS:	Spence Children's Anxiety Scale	31
SCAS-P:	Parent Version of the Spence Children's Anxiety Scale	32
SDQ:	The Strengths and Difficulties Questionnaire	8
新版 K 式発達検査		1
新版 STAI:	State-Trait Anxiety Inventory-JYZ	5
新版 TEG-3:	Tokyo University Egogram - New Ver.3	1
S-M 社会生活能力検査 (第三版):	Social Maturity Scale (Third Edition)	1
SRS-2:	Social Responsiveness Scale Second Edition	4
VQ:	Valuing Questionnaire	2
WAIS-IV:	Wechsler Adult Intelligence Scale-IV	2

4. 相談者内訳

相談者の内訳は Figure 1-3のとおりだった。

Figure 1 相談者の男女比

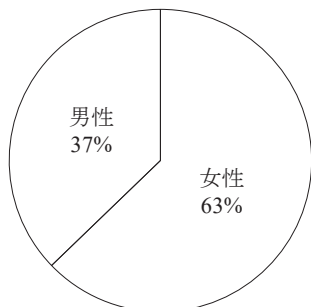


Figure 2 相談者の年齢層

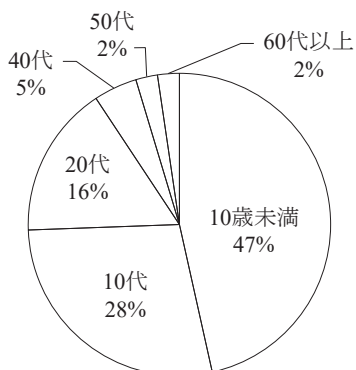
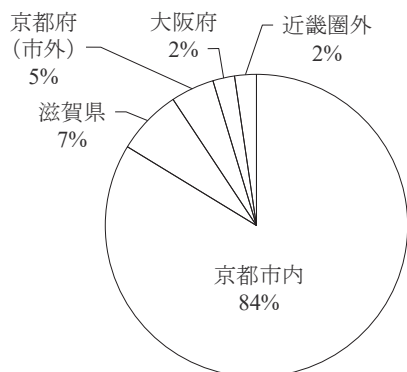


Figure 3 相談者の居住地域



5. 主訴内訳

主訴の内訳は Table 4のとおりだった。

Table 4 主訴の内訳 (件数)

子どもの発達・不安	31
うつ・不安	6
家族関係	3
その他	3
合計	43

(複数回答なし)

6. 来所経緯

相談者が本学心理臨床センターを知った経緯は Table 5のとおりだった。

Table 5 来談経緯 (件数)

ホームページ	7
知人より紹介	3
学校より紹介	16
病院より紹介	2
新聞広告	5
パンフレット	2
その他	10
合計	45

(複数回答あり)

7. 特別プログラム実施状況

2023年度には2つの特別プログラムが実施され (Table 6), 相談研修員が臨床と研究を学ぶ機会となった。

Table 6 2023年度実施特別プログラム

プログラム	面接数 ^{注1)}
ここチャレ教室： 怒りや感情のコントロール方法を学ぶ 子どもの認知行動療法プログラム	22
CBT キッズ： 子どもの不安改善プログラム	121
合計	143

注1) 面接数は初回, 継続, 査定合計を指す

8. 実習実績

博士課程前期課程13名の相談研修員が在籍し、本学心理臨床センター内における臨床実習の総時間は325.3時間、一人あたりの平均実習時間は25.02時間だった（スーパーバイズに必要な時間を含まない）。実習形態は Table 7のとおりだった。

Table 7 実習形態の内訳

面接担当 ^{注1)}	144.0
面接陪席 ^{注2)}	142.0
プレイ	0.0
検査	4.0
受付	3.3
その他	32.0
合計	325.3

注1) ケースでの主担当を指す

注2) 面接室での同席, あるいはカメラシステムを介した観察を指す

9. 広報活動

「CBT キッズ：子どもの不安改善プログラム」
 広告掲載（リビング京都, 5月13日）

10. 心理臨床センター委員会

第1回

日時 2024年3月13日（水）
 場所 神学館会議室
 出席者 青山 謙二郎（センター長）、杉若 弘子（副センター長）、中谷内 一也（学生支援機構長）、谷村 智輝（教育支援機構長）、山口 数宏（人事部長）、平岩 洋平（心理学部・心理学研究科事務室事務長、以下事務長と記載）

11. 心理臨床センター運営委員会

第1回

日時 2023年4月12日（水）
 13：00－14：46
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一、神原 広平、武藤 崇、興津 真理子、杉若 弘子（副センター長）、笹川 宏樹、津田 菜摘、八木 安理子、金 逸蓉、米澤 里奈、平岩 洋平（事務長）

第2回

日時 2023年4月26日（水）
 13：00－14：50
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一、神原 広平、武藤 崇、興津 真理子、杉若 弘子（副センター長）、笹川 宏樹、津田 菜摘、八木 安理子、金 逸蓉、米澤 里奈、平岩 洋平（事務長）

第3回

日時 2023年5月17日（水）
 12：58－14：02
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一、神原 広平、武藤 崇、興津 真理子、杉若 弘子（副センター長）、笹川 宏樹、津田 菜摘、八木 安理子、金 逸蓉、米澤 里奈、平岩 洋平（事務長）

第4回 休会

第5回

日時 2023年6月28日（水）
 13：02－14：20
 場所 尋真館 心理臨床センター研修室
 出席者 石川 信一、神原 広平、武藤 崇、興津 真理子、杉若 弘子（副センター長）、笹川 宏樹、津田 菜摘、八木 安理子、金 逸蓉、米澤 里奈、平岩 洋平（事務長）

2023年度心理臨床センター活動報告

第6回

日時 2023年7月26日 (水)
13:00-14:25
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,
興津 真理子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹, 八木 安理子,
金 逸蓉, 米澤 里奈, 平岩 洋平
(事務長)

第7回

日時 2023年10月11日 (水)
13:00-14:15
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,
興津 真理子, 大屋 藍子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹,
津田 菜摘, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第8回

日時 2023年11月1日 (水)
13:00-13:22
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,
興津 真理子, 大屋 藍子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹,
津田 菜摘, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第9回

日時 2023年11月22日 (水)
13:00-13:32
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,
興津 真理子, 大屋 藍子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹,
津田 菜摘, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第10回

日時 2023年12月20日 (水)
12:58-13:30
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,

興津 真理子, 大屋 藍子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹,
津田 菜摘, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第11回

日時 2024年1月31日 (水)
12:58-15:23
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,
興津 真理子, 大屋 藍子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹,
津田 菜摘, 八木 安理子, 金 逸蓉,
米澤 里奈, 平岩 洋平 (事務長)

第12回

日時 2024年3月6日 (水)
13:02-14:05
場所 尋真館 心理臨床センター研修室
出席者 石川 信一, 神原 広平, 武藤 崇,
興津 真理子, 杉若 弘子 (副センター長), 笹川 宏樹, 津田 菜摘,
八木 安理子, 金 逸蓉, 米澤 里奈,
平岩 洋平 (事務長)

12. 研究活動

刊行物 (著書・論文等)

Conour, C. N., Sugiwaka, H., Nelson, C. I., & Duncan, C. L. Self-Control in Pediatric Migraine Management: A Topical Review. *Journal of Pediatric Psychology*, 49 (2), 107-110.

藤岡 淳子・野坂 祐子・毛利 真弓 (編著) 性問題行動のある子どもへの対応: 治療教育の現場から 誠信書房

後藤 美結・山田 哲子・興津 真理子 両親間葛藤認知がもたらす青年の自己表現の在り方及び結婚観への影響: 要求拒否想定場面におけるアサーション能力に着目して 心理臨床科学, 13, 17-30.

波光 涼風・横山 仁史・神原 広平・尾形 明子 個人の注射体験に関する基礎的検討——ト

- ピックモデルによる個人の語りの分析——
総合病院精神医学, 35 (2), 140-147.
- 秦 一士・安井 知己 (編著) 青木 佐奈枝・木
村 一朗・笹川 宏樹・鈴木 常元・西尾
博・沼 初枝・藤田 主一 P-F スタディ解
説 (2020年版) 第2版 三京房
- 石川 信一 教室の中の認知行動療法: 不安で
学級に入れない子がちょっぴりウキウキを
見つけるために… 明治図書
- 石川 信一 不安症状を持つ子どもへの CBT
プログラム 神尾陽子 (編著) このまま
使える不安症状のある自閉症児のための認
知行動療法 (CBT) マニュアル 第2章
(pp.23-38) ミネルヴァ書房
- 石川 信一 第10回世界認知・行動療法会議
精神療法, 49 (6), 910.
- 石川 信一 教育の現場で用いる子どもへの認
知行動療法 心と社会, 55 (1), 23-27.
- 石川 信一 不安・心配が強い子どもへの認知
行動療法——子どもの不安を見逃さない
—— LD, ADHD & ASD, 37, 50-51.
- 石川 信一 ほんとの対話: CBT によるシング
ル・セッション・セラピー入門 こころの
科学, 235, 94.
- Ishikawa, S., Kishida, K., Takahashi, T.,
Fujisato, H., Urao, Y., Matsubara, K.,
& Sasagawa, S. Cultural Adaptation
and Implementation of Cognitive-
Behavioral Psychosocial Interventions
for Anxiety and Depression in
Japanese Youth. *Clinical Child and
Family Psychology Review*, 26 (3), 727-
750.
<https://doi.org/10.1007/s10567-023-00446-3>
- Ishikawa, S., & Sasagawa, S. Cultural
sensitivity and modifications for
child anxiety disorders. In L. J.
Farrell, Murrihy, R. C., & C. A.
Essau (Eds.), *Handbook of Child and
Adolescent Psychology Treatment
Modules: Personalized Care in Behavior
and Emotion* (pp. 307-322). London:
Academic Press.
- Kambara, K., Matsumoto, M., Hako, S.,
Shigematsu, J., Yokoyama, S., &
Ogata, A. An intervention to promote
concrete thinking style in young
adults: Effects on depressive
symptoms and its protective factors.
*Journal of Behavioral Therapy and
Experimental Psychiatry*, 81, 101857.
<https://doi.org/10.1016/j.jbtep.2023.101857>
- Kambara, K., Namba, S., Yokoyama, S.,
& Ogata, A. Thought habits and
processing modes among Japanese
university students do not influence
dynamic associations between
rumination and negative affect.
Scientific Reports, 14, 1-11.
<https://doi.org/10.1038/s41598-024-55174-7>
- 木原 陽子・石川 信一 発達障害者に対する認
知行動療法——自閉スペクトラム症をもつ
子どもの不安に対する認知行動療法の適用
と課題—— 発達障害研究, 45, 201-208.
- 木原 陽子・石川 信一 疑似体験介入による大
学生の自閉スペクトラム症に対するパブ
リックスティグマの変化 同志社心理, 70,
7-15.
- Kira, Y., Matsumoto, M., Kambara, K., &
Ogata, A. Implementation and
effectiveness of a sustained
depression prevention program for
high school students in Japan.
*International Journal of School &
Educational Psychology*, published
online.
<https://doi.org/10.1080/21683603.2023.2243858>
- 岸田 広平・松原 耕平・肥田 乃梨子・石川 信
一 日本における学校でのメンタルヘルス
予防教育の現状と課題——こころあっぷタ
イム (Up2-D2) の社会実装—— 不安症

- 研究, 15 (1), 10-19.
- Kurdi, V., Fukuzumi, N., Ishii, R., Tamura, A., Nakazato, N., Ohtani, K., Ishikawa, S., Suzuki, T., Sakaki, M., Murayama, K., & Tanaka, A. Transmission of Basic Psychological Need Satisfaction Between Parents and Adolescents: The Critical Role of Parental Perceptions. *Social Psychological and Personality Science*, 15 (2), 157-169.
<https://doi.org/10.1177/19485506231153012>
- Lieder, E. R., Nakazato, N., Ohtani, K., Ishii, R., Fukuzumi, N., Sakaki, M., Ishikawa, S., Suzuki, T., Murayama, K., & Tanaka, A. Children's study habits are predicted by their parents' learning strategy preferences. *Learning and Instruction*, 88, 101809.
<https://doi.org/10.1016/j.learninstruc.2023.101809>
- 松川 昌憲・大屋 藍子・武藤 崇 脱フュージョンエクササイズの実践に関する基礎研究——音声の物理的特徴にもとづく刺激機能の変換に対する文脈制御の予備的研究——心理臨床科学, 13, 3-16.
- 毛利 真弓 刑務所での治療共同体 精神療法, 増刊10 グループで日常臨床を変える, 240-246.
- 毛利 真弓 性的問題行動——窃触症, 窃視症, 小児性愛など——精神科治療学 38増刊 アディクションとその周辺, 310-313.
- 中西 陽・肥田 乃梨子・沖田 昇平・中道 沙知・松原 耕平・岸田 広平・石川 信一 特別支援学校高等部に在籍する知的障害のある生徒に対するメンタルヘルスプログラムの効果 認知行動療法研究, 50 (1), 25-34.
<https://doi.org/10.24468/jjbct.22-022>
- 中西 陽・吉田 帆乃・矢野 彩都美・松原 耕平・岸田 広平・石川 信一 特別支援学校高等部に在籍する知的障害のある生徒のメンタルヘルス 同志社教師教育研究, 1, 18-24.
- 大屋 藍子 高度肥満を抱えるクライアントに対する心理職を含めた多職種協働実践の試み 心理臨床学研究, 41, 475-485.
- 嶋 大樹 (翻訳) システムを崩す 菅原 大地・樫原 潤・伊藤 正哉 (監訳) プロセス・ベースド・セラピーをまなぶ——「心の変化のプロセス」をターゲットとした総合的ビジョン—— (第9章) 金剛出版 (Hofmann, S. G., Hayes, S. C., & Lorscheid, D. N. (2021). *Learning Process-Based Therapy: A Skills Training Manual for Targeting the Core Processes of Psychological Change in Clinical Practice*. Context Press)
- 嶋 大樹・井上 和哉・本田 暉・高橋 まどか 外来臨床における標的行動選定プロセスとその特徴の記述に向けた系統的レビュー 認知行動療法研究, 49 (2), 63-74.
<https://doi.org/10.24468/jjbct.22-014>
- 嶋 大樹・熊野 宏昭 アクセプタンス&コミットメント・セラピー——「行動」としての「認知」, 「行動」に影響を与える「認知」との付き合い方—— 精神療法, 49 (6), 52-56.
- Shima, T., & Muto, T. Profiles of psychological flexibility in Japan: A conceptual replication. *Journal of Contextual Behavioral Science*, 31, 100715.
<https://doi.org/10.1016/j.jcbs.2023.11.006>
- Sourander, A., Ishikawa, S., Ståhlberg, T., Kishida, K., Mori, Y., Matsubara, K., Zhang, X., Hida, N., Korpilahti-Leino, T., Ristkari, T., Torii, S., Gilbert, S., Hinkka-Yli-Salomäki, S., Savolainen, H., & Närhi, V. Cultural adaptation, content, and protocol of a feasibility study of school-based “Let's learn

- about emotions” intervention for Finnish primary school children. *Frontiers in Psychiatry*, 14, 1334282. <https://doi.org/10.3389/fpsy.2023.1334282>
- 杉若 弘子 (大河内 浩人ほかと共訳) 機能分析心理療法: 臨床家のためのガイドブック 金剛出版 (Tsai, M., Kohlenberg, R. J., Kanter, J. W., Holman, G. I., & Loudon, M. P. *Functional Analytic Psychotherapy: Distinctive Features*. Routledge)
- Takahashi, T., Ishikawa, S., Aiboshi, T., & Miyauchi, M. Evaluating the long-term effects of cognitive behavioural therapy as an early intervention for at-risk anxiety disorders among preschool children in Asia. *Clinical Child Psychology and Psychiatry*, 29 (3), 994-1010. <https://doi.org/10.1177/13591045231194104>
- Takashina, H. N., Ueda, S., Sakai, M., Takahashi, F., Sato, H., Hudson, J. L., Rapee, R. M., & Ishikawa, S. Randomised controlled trial of cultural-adapted and programme-adopted cognitive behavioural therapy for children and adolescents’ anxiety in Japan: protocol for a Multi-, Inter-, and Cross-cultural Clinical Child Study (MIXCS). *BMJ open*, 13 (7), e068855. <https://doi.org/10.1136/bmjopen-2022-068855>
- Tanaka, A., Tamura, A., Ishii, R., Ishikawa, S., Nakazato, N., Ohtani, K., Sakaki, M., Suzuki, T., & Murayama, K. Longitudinal association between maternal autonomy support and controlling parenting and adolescents’ depressive symptoms. *Journal of Youth and Adolescence*, 52 (5), 1058-1073. <https://doi.org/10.1007/s10964-022-01722-1>
- 八木 安理子 こども家庭福祉とソーシャルワーク I 多様なニーズをもつこどもや家庭へのソーシャルワーク第3節: こどもや保護者への面接技術, 『こども家庭ソーシャルワーカー (仮) の施行に向けた具体的運用に関する調査研究』テキスト, 一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟
- ### 学会活動
- 阿部 夏希・中井 隆介・戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・神原 広平・安部 主晃・重松 潤・張 清源・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・柳澤 邦昭・中島 健一郎 孤独感を予測する要因の検討 (日本心理学会第87回大会, ポスター発表, 9月)
- 福本 拓実・石川 信一・肥田 乃梨子・岸田 広平・松原 耕平・三上 勇氣 障害福祉施設に通所する精神障害者に対するタブレットを用いた認知行動療法の利用可能性の検討 (第23回日本認知療法・認知行動療法学会, ポスター発表, 11月)
- Ishikawa, S. The rationale and practical skills of a school-based universal prevention program. (The 11th Congress of the Asian Society for Child and Adolescent Psychiatry and Allied Professions, シンポジウム, 5月)
- Ishikawa, S. A comparison study of therapeutic interactions across CBT treatment delivered with two different cultural groups (10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies, シンポジウム, 6月)
- Ishikawa, S. A culturally adapted cognitive behavioral therapy for children with anxiety in Japan: Application of a bidirectional cultural adaptation (10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies,

- シンポジウム, 6月)
- 石川 信一 子どもの認知行動療法の基本的考え方——基礎編—— (UPM 日本心理医療諸学会連合第35回大会, 研修会講師, 11月)
- 石川 信一 子どもの認知行動療法の基本的考え方——実践編—— (UPM 日本心理医療諸学会連合第35回大会, 研修会講師, 11月)
- Ito, A., & Muto, T. Associations between alexithymia and ACT factors among Japanese students. (Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2023, 7月)
- Kambara, K., Namba, S., & Kabir, S. R. Is punishment learning based by rumination in and online feedback-based probability learning task? A processing modes perspectives (10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies, ポスター発表, 6月)
- 神原 広平 MIRaES プログラムは多様な高校生のメンタルヘルスを改善するか——量的・質的な面からの考察—— (日本LD学会第32回大会, 大会企画シンポジウム, 10月)
- 木原 陽子・中西 智愛・津田 征海・岸田 広平・松原 耕平・石川 信一 COVID-19の影響下における児童青年のメンタルヘルスについての縦断調査 (第15回日本不安症学会学術大会, ポスター発表, 5月)
- Kihara, H., & Ishikawa, S. The Changes of Public Stigma toward Autism Spectrum Disorder in College Students through Lecture and ASD Simulation Intervention (10th World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies, ポスター発表, 6月)
- 菊田 和代・石川 信一 認知行動療法を職域の二次予防に実装する——社交不安症状がもたらすプレゼンティズムの早期改善—— (日本認知・行動療法学会第49回大会, ポスター発表, 10月)
- 岸田 広平・石川 信一 子どもの怒りに対する認知行動療法プログラムの Proof of concept 試験——反抗挑発症に対する認知行動療法の有効性—— (日本認知・行動療法学会第49回大会, ポスター発表, 10月)
- 岸田 広平・津田 征海・石川 信一 親の養育行動尺度の開発および信頼性・妥当性の検討 (第23回日本認知療法・認知行動療法学会, ポスター発表, 12月)
- 岸田 広平・津田 征海・石川 信一 不登校児のメンタルヘルスと行動特徴に関する検討——親評定オンライン調査による登校児と不登校児の比較—— (日本学校メンタルヘルス学会第27回大会, ポスター発表, 3月)
- 小関 俊祐・杉山 智風・岸野 莉奈・吉村 英里・河田 友紀子・栗田 駿一郎・高橋 高人・石川 信一 児童を対象とした集団メンタルヘルス教育プログラムの構築と効果検証 (日本認知・行動療法学会第49回大会, ポスター発表, 10月)
- 眞島 凌・山本 哲也・石川 信一 精神疾患に対して子どもが有するパブリックスティグマ低減プログラムの効果——小中学生を対象としたシステマティックレビュー—— (日本認知・行動療法学会第49回大会, ポスター発表, 10月)
- Matsukawa, M., Ohya, A., & Muto, T. Experimental Analysis of the Development of Cognitive Defusion: Effect of Contextual Control over Transformation of Stimulus Function Established by Auditory Features of Equivalence Class Members (Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2023, ポスター発表, 7月)
- Nakanishi, Y., & Ishikawa, S. Effects of a mental health program for adolescents with intellectual disabilities in a high school for

- special needs education (10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies, ポスター発表, 6月)
- 難波 修史・神原 広平・重松 潤・清水 陽香・山中 真悟・木下 博義・福井 謙一郎・中島 健一郎 教師による成績予測の正確性評価に適した指標を考える (日本心理学会第87回大会, ポスター発表, 9月)
- 尾形 明子・神原 広平・吉良 悠吾 高等学校で行う認知行動療法(第23回日本認知療法・認知行動療法学会, ワークショップ講師, 12月)
- 大屋 藍子・楨野 久士 患者の治療への取組みを促すためのアクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) (第10回日本糖尿病医療学会, 教育講演, 11月)
- 坂野 雄二・原井 宏明・杉若 弘子 認知行動療法あれこれ (日本認知・行動療法学会第49回大会, 教育講演 (鼎談), 10月8日)
- Shima, T. Differential effects between types of onomatopoeia in metaphors (Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2023, ポスター発表, 7月)
- 嶋 大樹 オノマトペの使用がメタファーの効果に及ぼす影響 (日本認知・行動療法学会第49回大会, ポスター発表, 10月)
- 嶋 大樹 アクセプタンス&コミットメント・セラピーによる糖尿病患者の生活習慣支援 (第36回日本総合病院精神医学会総会, シンポジウム, 11月)
- 嶋 大樹・津田 菜摘 大学生の心理的健康の保持増進に対するオンライン ACT プログラムの開発——個別プロセス変数に着目した追加分析—— (日本心理学会第87回大会, ポスター発表, 9月)
- 杉本 佳隆・興津 真理子・伊藤 大輔 家族介護への関わりが扶養意識に与える影響に関する検討 (日本心理学会第87回大会, ポスター発表, 9月)
- Sugiwaka, H., Okouchi, H., & McNeil, D. W. Development of Japanese version of the Brief Assessment of Distress about Pain. (Association for Behavioral and Cognitive Therapies 57th Annual Convention, 11月)
- 立川 彩優・木原 陽子・石川 信一 小学生に対するメンタルヘルス予防プログラムの有効性の検討 (日本認知・行動療法学会第49回大会, ポスター発表, 10月)
- 戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・安部 主晃・重松 潤・張 清源・神原 広平・阿部 夏希・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 大学生の孤独感に影響を及ぼす要因の総合的考察 (日本グループ・ダイナミクス学会第69回大会, ショートスピーチ, 9月)
- 戸谷 彰宏・李 受珉・清水 陽香・安部 主晃・重松 潤・張 清源・神原 広平・阿部 夏希・早瀬 良・杉浦 仁美・阿部 修士・中井 隆介・柳澤 邦昭・中島 健一郎 大学生の孤独リスクにかかわる個人・集団レベルの縦断調査研究——基礎的分析の報告 (日本社会心理学会第64回大会, ポスター発表, 10月)
- Tsuda, N., Shima, T., Katagiri, Y., & Kano, R. The effect of Values Clarification for returning to work program (Association for Contextual Behavioral Science World Conference 2023, ポスター発表, 7月)
- 津田 菜摘・小林 智之 精神疾患を有する人物への適切な対応方法イメージの検討 (日本心理学会第87回大会, ポスター発表, 9月)
- 津田 菜摘 精神疾患患者への対応における気づきの重要性 (日本認知・行動療法学会第49回大会, シンポジウム, 10月)
- 津田 菜摘 精神疾患に対するスティグマ対策としての認知行動療法的アプローチ (日本認知・行動療法学会第49回大会, シンポジウム, 10月)
- Tsujimoto, H., & Sasaki, J. Exploration

of a process model in which perfectionism leads to maladaptation and suicide (10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies, ポスター発表, 6月)

辻本 悠・佐々木 淳 完全主義が不適応に至るプロセスの探索 (日本心理学会第87回大会, ポスター発表, 9月)

八木 安理子 要保護児童対策地域協議会の現状と工夫②～市町村の工夫を中心に～ (日本子ども虐待防止学会第29回学術集会所が大会, 一般演題, 11月26日)

八木 安理子・小泉 誠・北村 充・今井 亮平 市区町村子ども家庭支援における組織内スーパーバイザーの役割について～自主制作映画を通して考える (日本子ども虐待防止学会第29回学術集会所が大会, 公募シンポジウム, 11月26日)

横山 有果里・岩本 脩平 “自分を責めるグルグル思考”を主訴とする女性との面接——ブリーフセラピー初心者が得た視点—— (日本ブリーフセラピー協会第15回学術会議, 事例発表, 10月)

Yoshioka, M., Kato, S., Takashina, H. N., Ueda, S., Sakai, M., Takahashi, F., Sato, H., Hudson, J. L., Rapee, R. M., & Ishikawa, S. Study protocol for a randomized controlled trial of culturally-adapted and program-adopted cognitive behavioral therapy for children and adolescents' anxiety in Japan: A Multi-, Inter-, and Cross-Cultural Clinical Child Study (MIXCS) (10th World Congress of Cognitive and Behavioral Therapies, ポスター発表, 6月)

研究会活動

嶋 大樹 「“ことば”を知り, 上手く付き合う——関係フレーム理論とその応用——」 (共調的社会脳研究会 コミュニケーショ

ン&人間とは何か? セミナーシリーズ, 12月)

辻本 悠 完全主義は対人的影響を受ける (第5回共調的社会脳研究会, 口頭発表, 11月)

八木 安理子・渡邊 直・中沼 早苗・吉田 恵子・三宅 妙子・櫻井 よし子・橋本 めぐみ・吉村 拓美・武田 由 「市における心理職の役割に関する実態調査」令和5年度子どもの虹情報研修センター研究

講演・公開講座

石川 信一 「こころあっぷタイム「子どものためのメンタルヘルス予防教育」: 埼玉県実施者講習会」(埼玉県教育委員会「令和5年度非認知能力育成実証研究事前研修: 新座市・戸田市・上里町: 前半」, 4月)

石川 信一 「子どものメンタルヘルス予防について」(東大阪市教育センター「令和5年度教育相談研修会」, 6月)

石川 信一 「メンタルヘルス予防教育プログラム「こころあっぷタイム」: 理論編」(渋谷区立加計塚小学校「校内研修会」, 7月)

石川 信一 「学校での児童・生徒のメンタルヘルス予防教育プログラム」(練馬区立学校教育支援センター「令和5年度学校教育相談研修会」, 7月)

石川 信一 「子どものためのメンタルヘルス予防プログラム: 理論編」(同志社大学石川研究室「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラムタスクフォース養成研修会2023年夏」, 7月)

石川 信一 「子どものためのメンタルヘルス予防プログラム: 理論編」(同志社大学石川研究室「子どものためのメンタルヘルス予防教育プログラムタスクフォース養成研修会2023年秋」, 7月)

石川 信一 「こころあっぷタイム「子どものためのメンタルヘルス予防教育」: 埼玉県実施者講習会」(埼玉県教育委員会「令和5年度非認知能力育成実証研究事前研修: 行田市・坂戸市」, 8月)

- 石川 信一 「こどものメンタルヘルス予防教育」(守山市教育委員会「令和5年度新規実施校(吉身・河西)事前研修会」, 8月)
- 石川 信一 「喜多方市こどものメンタルヘルス予防教育」(喜多方市教育委員会「喜多方市レジリエンス教育(メンタルヘルス予防教育プログラム)タスクフォース研修会」, 8月)
- 石川 信一 「こころあっぷタイム「子どものためのメンタルヘルス予防教育」:埼玉県実施者講習会」(埼玉県教育委員会「令和5年度非認知能力育成実証研究事前研修:新座市・戸田市・上里町:後半」, 8月)
- 石川 信一 「子どもへの不安へのアプローチ〜「こころあっぷタイム」を中心に」(枚方市子どもの育ち見守り室「職員向け研修」, 9月)
- 石川 信一 「子どもの不安と抑うつ——不安を乗り越える認知行動療法」(京都国際社会福祉センター「治療教育講座」, 10月)
- 石川 信一・岸田 広平 「幼児から青少年までのレジリエンス向上を目指したプログラムと人材育成体制づくり」(国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)「シナリオ創出フェーズ・ソリューション創出フェーズ:令和5年度プログラム全体会議」, 10月)
- 石川 信一 「子どもの不安と抑うつ——不安を乗り越える認知行動療法」(京田辺市役所人権啓発推進課「よりよい関係をつくるコミュニケーションを学ぼう!:京田辺市立田辺小学校」, 12月)
- 石川 信一 「子どもの不安を解きほぐす認知行動療法」(金子総合研究所「金子総合研究所オンラインセミナー」, 12月)
- 石川 信一 「子どもの不安と抑うつ——不安を乗り越える認知行動療法」(京田辺市役所人権啓発推進課「よりよい関係をつくるコミュニケーションを学ぼう!:京田辺市立草内小学校」, 1月)
- 石川 信一 「教室で実施する子どものメンタルヘルス教育——「こころあっぷタイム」事業の成果から——」(国立成育医療研究センター「第26回子どもの心の診療ネットワーク事業連絡会議」, 1月)
- 石川 信一 「学校で行う心理教育プログラム——これまでの歩みとこれから向かう道——」(「令和5年度心理学を学ぶ大学生による奈良県内での心理教育の実践シンポジウム」, 2月)
- 石川 信一 「幼児から青少年までのレジリエンス向上を目指したプログラムと人材育成体制づくり」(「諸君ヨ, 一人一人ハ大切ナリSDGs シンポジウム」, 3月)
- 神原 広平 「青年の抑うつのメカニズムやその予防——反すうに関連する諸理論や認知行動療法の観点から——」(公認心理師ネットワーク, セミナー講師, 9月25日)
- 毛利 真弓 「日常の生活を治療的にしよう——回復共同体アプローチから——」(京都YWCAトラウマ・インフォームド・ケア連続講座第6回(オンライン), 10月17日)
- 興津 真理子 「家族のライフサイクルから里親家庭を考える」(第18回西日本児童養護施設職員セミナー京都大会 講座「中途養育の里親支援を考える」, 9月13日)
- 笹川 宏樹 「児童福祉臨床におけるアセスメントの実際」(令和5年度児童相談所関連研修 児童福祉司(1~2年目)Ⅱ, 特別区職員研修所, 6月22日・23日)
- 笹川 宏樹 「子ども家庭支援のためのケースマネジメント」(令和5年度児童相談所関連研修 指導教育担当児童福祉司任用前研修, 特別区職員研修所, 8月1日)
- 嶋 大樹 「はじめての臨床行動分析」(CBTメンタルサポート, 8月)
- 嶋 大樹 「神戸市ゲートキーパー養成研修」(神戸市ゲートキーパー養成研修, 8月)
- 嶋 大樹 「ACTにおける価値って何だろう?」(日本公認心理師ネットワーク, 11月)
- 嶋 大樹 「対人支援職のためのセルフケア」(神戸市精神保健福祉従事者研修, 12月)

八木 安理子 児童相談所長研修「前期：要保護児童対策地域協議会における虐待ケースや要保護児童への支援の実際を学ぶ」「後期：要保護児童対策地域協議会の活用等関係機関との連携」（子どもの虹情報研修センター，4月26日・10月12・26日）

八木 安理子 「児童福祉領域における公認心理師の基本」（福祉分野委員会 児童福祉領域研修会基礎コース，日本公認心理師協会，6月25日・1月21日）

八木 安理子 「要保護児童対策協議会の運営・会議の運営とケース管理」（大阪市法定研修，6月26日・9月15日）

八木 安理子 「対話力の向上～要対協の組織での役割分担～」(摂津市要保護児童対策地域協議会の実務者向け研修会，6月30日)

八木 安理子 「子ども家族相談の運営と相談援助のあり方」（令和5年度大阪府要保護児童対策調整機関の調整担当者研修，関西子ども文化協会，7月11日）

八木 安理子 「市区町村子ども家庭総合支援拠点の役割について」（京都市子ども家庭総合支援拠点研修，7月14日）

八木 安理子 「虐待通告後の家庭訪問のあり方と，その後の支援までのプロセス」市町村子ども家庭支援指導者研修（西日本子ども研修センターあかし，7月27日）

八木 安理子 「子ども・家庭福祉における福祉実践と福祉行政の役割」（令和5年度福祉行政職員初任者研修，公立大学法人岩手県立大学，7月31日）

八木 安理子 「要保護児童対策地域協議会の運営」（令和5年度堺市要保護対策調整機関の調整担当者研修，8月29日）

八木 安理子 「地域の子どもの安全を守るため～子どもの虐待を発見した時に私たちにできること～」(富田林市要保護児童対策地域協議会研修，8月21・25日)

八木 安理子 「子どもを取り巻くインターネット問題」（令和5年度平野区要保護対策地域協議会代表者会議，8月31日）

八木 安理子 「児童虐待対応における児童へのききとり」（高槻市総合支援センター職員スキルアップ研修，9月11日）

八木 安理子 「困難をかかえる子どもや家庭を地域の中で支援するチームづくり～ことばの裏側にある気持ちに寄り添うには～」(令和5年度子どもの心のケア推進事業，宮城県子ども総合センター，9月19日)

八木 安理子 「関係機関（市区町村を含む）との連携・協働と在宅支援」（令和5年度 岐阜県，市町村要保護児童対策調整機関の担当者研修，10月4日）

八木 安理子 「養育困難家庭への支援について～言動の背景にある気持ちに寄り添って～」(令和5年度港区要保護児童対策地域協議会第5回関係機関研修，10月27日)

八木 安理子 「市町村の子ども家庭支援を考える」（令和5年度 要保護児童対策地域協議会連携強化研修【萩・下関圏域】社会福祉法人山口県社会福祉協議会，10月30日・12月11日）

八木 安理子 「今，市町村子ども家庭支援にもとめられているものは」（新潟県令和5年度市町村子ども家庭支援担当者実務研修会，11月6日）

八木 安理子 「子どもの心に気づく我が家のルール作り」（加東市児童虐待防止推進キャンペーン講演会，11月12日）

八木 安理子 「市町村における支援のあり方について～子ども家庭センター設置を視野に入れて～」(岡山県要保護児童対策調整機関担当者研修，11月16日)

八木 安理子 「子ども家庭センターにおける市町村子ども家庭支援」（栃木県令和5年度児童虐待対策関係市町児童福祉・母子保健担当者合同研修会，1月12日）

八木 安理子 「子ども家庭センターってなぜ必要？」(市区町村子ども家庭支援体制強化研修 in 神戸，西日本子ども研修センターあかし，1月24日)

八木 安理子 「虐待防止に向けた対話力の向上

～保護者や子どもの言葉や行動の背景の理解から～」(摂津市教育委員会事務局 学校教育課, 2月6日)

八木 安理子 「こども家庭センターの具体的な運営について」(令和5年度第2回庁内学習会, 阿智村こども家庭センター, 2月14日)

八木 安理子 「こども家庭センターについて～法改正と設置を活かした効果的な支援を考える～」(令和5年度第4回管内市町村こども家庭支援担当者等研修会, 長野県飯田児童相談所, 2月14日)

八木 安理子 「こども家庭センターってなぜ必要?」(市区町村子ども家庭支援体制強化研修 in 宮城, 西日本こども研修センターあかし, 3月5日)

八木 安理子 「こども家庭センターについて～法改正と設置を活かした効果的な支援を考える～」(令和5年度市区町村こども家庭支援拠点研修会, 静岡県健康福祉部, 3月7日)

八木 安理子 「市町村が行う児童家庭支援とは～こども家庭センターの役割について～」(和歌山県令和5年度市町村児童福祉担当職員研修, 3月13日)

その他

石川 信一 「現在の不登校の状況について」助言(京田辺市議会「NEXT 京田辺」「不登校勉強会」, 3月)

毛利 真弓 法務省名古屋刑務所職員による暴行・不適正処遇事案に係る第三者委員会(第7回)「心理・社会福祉領域等に関するヒアリング」参考人(4月25日, オンライン)

興津 真理子 カップルセラピースーパーヴィジョン(一般社団法人京都精神分析心理療法研究所, 4月～3月)

笹川 宏樹 児童相談所第三者評価業務委託(日本児童相談業務評価機関 J-Oschis, 10月・12月)

笹川 宏樹 大阪市要保護児童対策地域協議会機能強化事業スーパーバイザー派遣(NPO

法人 児童虐待防止協会, 全15回)

八木 安理子 こども家庭庁令和5年度子ども子育て支援推進調査研究事業「統括支援員の育成に関する調査研究」(有識者検討委員会, KPMG コンサルティング株式会社, 2023年度5回)

八木 安理子 こども家庭庁令和5年度子ども子育て支援推進調査研究事業「母子保健と児童福祉の一体的相談体制の構築にかかる事例収集についての調査研究に係る検討委員会」(KPMG コンサルティング株式会社, 2023年度5回)

八木 安理子 河内長野市こども家庭総合支援拠点SV研修会(SV, 河内長野市, 年3回)

八木 安理子 西日本こども研修センターあかし企画評価委員(委員委嘱, 年2回)

八木 安理子 西日本こども研修センターあかし「統括支援員指導者養成研修の検討にかかるワーキンググループ委員」(委員委嘱)

八木 安理子 堺市いじめに係る子どもの悩み等に関する聴取等業務に関する総合評価一般競争入札委託業務事業者選定庁内委員会(委員委嘱)

八木 安理子 堺市社会福祉審議会児童福祉専門分科会子ども虐待検証部会(委員委嘱, 年4回)

八木 安理子 奈良市児童虐待防止施策検討会議(委員委嘱)

八木 安理子 西日本こども研修センターあかし企画評価委員(委員委嘱, 年2回)

2022年度未記載の活動記録

笹川 宏樹 対応のバリエーション(そだちと臨床研究会企画・運営, 2022年6月・10月・3月)

笹川 宏樹 第41回ワークショップ・イン・神戸(そだちと臨床研究会企画・運営, 2022年6月)

13. 2023年度構成員

センター長

青山謙二郎 (心理学部 教授)

副センター長

杉若 弘子 (心理学部 教授)

指導相談員

石川 信一 (心理学部 教授)

神原 広平 (心理学部 助教)

毛利 真弓 (心理学部 准教授)

武藤 崇 (心理学部 教授)

大屋 藍子 (心理学部 准教授)

興津真理子 (心理学部 教授)

津田 菜摘 (心理学部 助教)

八木安理子 (心理学部 客員教授)

特任指導員

笹川 宏樹 (心理学部 嘱託講師)

嶋 大樹 (心理学部 嘱託講師)

菊田 和代

(実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター 嘱託研究員)

梅澤友香里

(実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター 嘱託研究員)

横山有果里

(実証に基づく心理・社会的トリートメント研究センター 嘱託研究員)

相談員

金 逸蓉 (心理臨床センター)

米澤 里奈 (心理臨床センター)

相談研修員

松岡 里紗

(心理学研究科博士課程後期課程)

木原 陽子

(心理学研究科博士課程後期課程)

辻本 悠

(心理学研究科博士課程後期課程)

有木京志郎

(心理学研究科博士課程前期課程)

伊藤 綾音

(心理学研究科博士課程前期課程)

松川 昌憲

(心理学研究科博士課程前期課程)

中島 匠

(心理学研究科博士課程前期課程)

清水 優美

(心理学研究科博士課程前期課程)

田原 一樹

(心理学研究科博士課程前期課程)

吉松 澄音

(心理学研究科博士課程前期課程)

東 遥菜

(心理学研究科博士課程前期課程)

後藤 美結

(心理学研究科博士課程前期課程)

岸本 綾音

(心理学研究科博士課程前期課程)

久保 夏蓮

(心理学研究科博士課程前期課程)

中西 彩巴

(心理学研究科博士課程前期課程)

立川 彩優

(心理学研究科博士課程前期課程)

阿部 望

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

中西 陽

(心理学研究科博士課程後期課程修了生)

船津 萌実

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

肥田乃梨子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

伊井 彩郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

牧野 未菜

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

中島 香

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

中西 智愛

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

西尾 悠佑

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

野田 昌宏

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

奥山 朝子

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

高村 朋加

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

竹村 忠寛

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

徳田 文美

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

八谷 勇斗

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)

横井 沙郁

(心理学研究科博士課程前期課程修了生)